

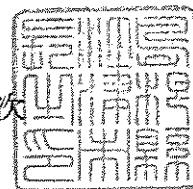


江地第50号
平成19年5月7日

国土交通省道路局長 様

島根県江津市

江津市長 田中増次



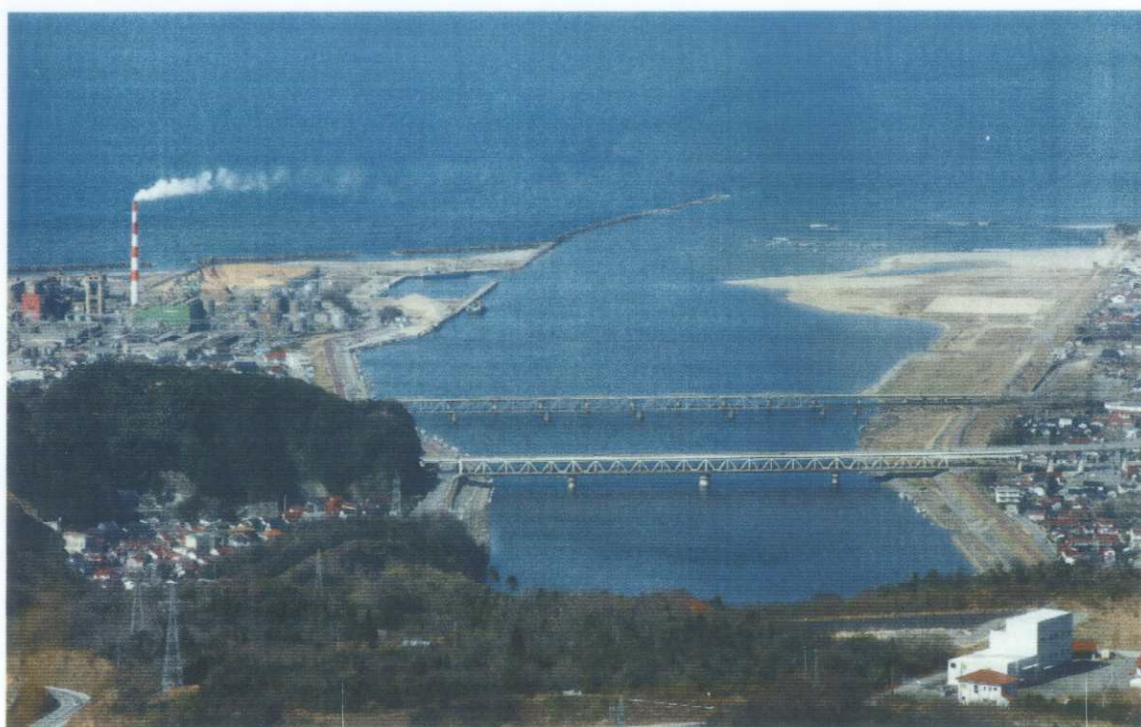
中期的な計画の作成にあたってのご意見の提出について

平成19年4月2日付、国道企第114号で依頼のありましたこのことについて
別紙のとおり回答します。

元気！ 勇気！ 感動！ ごうっ

**地方の活力と美しい国への道づくりは道路
特定財源堅持なくしては、実現不可能！！**

道路政策・道路整備に関する意見書

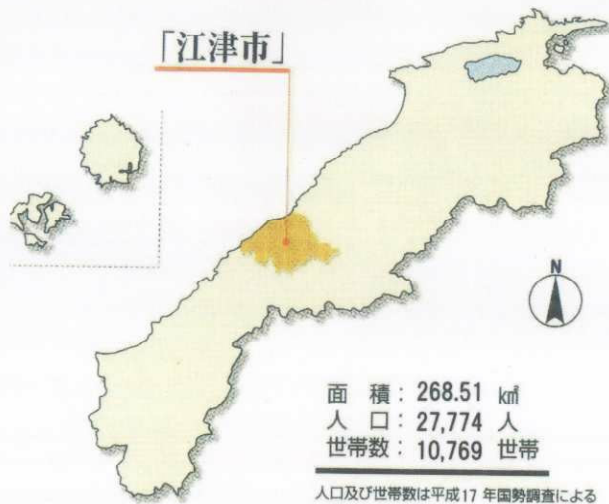


島根県 ^{ごうっし}江津市

地方の活力と美しい国への道づくり

島根県江津市は、中国地方随一の大河「江の川」が日本海に注ぐ、県の中央に位置する総面積 268.51 k m²、人口 27,774 人の島根県でも一番規模の小さな市であります。

当市は、良質な粘土が産出することから、古くより窯業が盛んであり、石州瓦の産地として、また豊富な水資源を活用するパルプ工場をいち早く誘致し山陰の工都として栄えてまいりました。



江津市の現状と課題

本市は、集落の多くが谷沿いに点在する典型的な中山間地域であり、鉄道やバス等、公共交通機関が脆弱なうえ、**高速道路を始めとする道路整備の遅れ**が、住民の日常生活はもとより、企業活動や農林水産業、更には観光振興等を阻害する要因となっています。

また、このこと等により集落の過疎・高齢化が進行し、美しい海・山・川の自然や、豊かな山林・農地等が荒廃しつつあり、自然環境保全と併せ、ふるさと喪失の観点からも大きな危惧の念を抱いています。

平成 16 年 10 月に江の川上流の桜江町と合併し、『**元気！勇気！感動！**ごうつ〜江の川が育むイキイキ協働体〜』をキャッチフレーズに新市将来構想を策定し、新しいまちづくりに取り組んでおります。

こうした中、以下大きく四つの課題があります。

I 東京から一番遠い江津市

高校の教科書「地理 A」での掲載や、民放のテレビ番組により、本市は東京からの移動時間距離が**全国で一番遠い地域**として名前が挙げられ、日本一便利の悪い地としての印象が強く、新たな企業の誘致や観光客等の確保にも悪影響を及ぼしています。

II 人口減少と高齢化

平成 17 年に実施された国勢調査では、5 年前の調査と比較して、人口減少は 1,603 人、率にして 5.5% の減であり、**県内 8 市の中ではワースト 1**、全国 751 市の中でも 59 位であります。

高齢化率も 31.2%で特に後期高齢化率が高く、**超スーパー高齢社会**となっており、集落の機能が崩壊しつつあります。

Ⅲ あらゆる面で衰退する活力

就労の場が少ないことから若者の流出が顕著であり、特に近年は、その傾向が著しく少子化も急激に進行しております。また、義務教育はもとより高等学校再編等教育の衰退や過疎・高齢化に伴う、**農林漁業の後継者・地域産業等、モノづくりの人的継承者が減少**しております。

Ⅳ 経済活動の停滞による財政的悪化

地場産業や農林漁業の不振による労働人口の減少と併せ、観光入込み客の伸び悩み等により、**地域間格差はますます拡大し**、国の経済回復基調とは大きく異なり、本市の財政は、依然として厳しい状況が続いております。

課題解決への道路特定財源の堅持による道路整備の促進

以上、本市の課題について述べたところでありますが、これら課題解決への最重要施策は道路整備をおいて他にありません。

別紙参考資料を添付しておりますとおり、本市の住民にとって自家用車は生活していくうえで、いかに必要不可欠であるかをご理解をいただけるものと思います。

しかしながら、高速道路を始めとする国・県・市道の整備率は極めて低く、地方で生活する住民にとって**道路整備の遅れは死活問題**といっても過言ではありません。

今日の、国・地方における財政状況が極めて厳しいことは十二分に承知をしており、道路整備につきましても「全ての路線を。」とは申しません。

道路整備を促進するためにも**道路特定財源を堅持し**、あれもこれもではなく、あれかこれか。といった集中と選択の中で喫緊の課題である「**真に必要な道路**」について意見を申し上げます。

道路整備に関する意見

◎地方の活力を生み、若者定住への道づくり

本市を代表する地場産業である石州瓦の振興や、新たな企業誘致による就労の場の確保を図るためにも**山陰自動車道（江津・温泉津間）の早期完成**が必要であります。

◎豊かな自然環境を守り、美しいふるさとへの道づくり

本市は中国地方随一の大河『江の川』や、万葉の歌人『柿木人麻呂』が歌った風光明媚な『高角山』や『角の浦』の日本海等豊かな自然を有しています。

こうした美しい自然と、豊かな山林や農地を守り育てていくためにも若者定住を進め、後継者の育成と教育による人づくりにより、『**誇りの持てる、ふるさと・好きと言える江津**』をめざして町づくりを進めております。

そのためにも、**高速道路とリンクした県道・市道の整備**が必要であります。

◎歴史・文化を活用する観光振興への道づくり

『観光立国・日本』を標榜する今日、**日本一の田舎**と言われている本市においても様々な歴史的・文化的施設が数多くあり、これらのポテンシャルを掘り起こし観光客誘致につなげるとともに、本年 7 月に世界遺産登録が予定されている、『大森銀山遺跡』と、**夢街道ルネサンス認定の『天領江津本町薨街道』**をリンクし、山陰随一の水族館『しまね海洋館アクアス』（6 年間で 4 0 0 万人の入込み）とも連携し、広域的な取り組みを行っていく上においても、**山陰自動車道・県道・市道の整備**が必要であります。

◎安心・安全の地域への道づくり

本県は東西に長い地理的条件の中、昨年の 7 月豪雨災害や過去幾度となく大きな災害に見舞われており、唯一、東西を結ぶ主要幹線道路である国道 9 号も、いつ発生するかわからない自然災害により、交通が遮断する懸念を抱えております。

特に、緊急医療としての三次医療施設は出雲市にあり、昨今の高齢化等の進行から本市にある二次医療施設済生会病院等からの患者の救急搬送もその頻度が高まっており、併せて患者の生命を守るため時間短縮も喫緊の課題であります。

更に、国民保護計画で定めることが義務付けられている、避難経路及び物資の輸送手段の確保等につきましても、幹線道路は国道 9 号のみで迂回路が未整備の状況では住民の安心・安全を確保する観点からも非常に難しい状況にあります。

これらを解決するためにも、**山陰自動車道の早期完成**が必要であります。

◎快適で住みやすい地域への道づくり

公共交通機関の極めて脆弱な本市にとって、通院・通学・通勤・買い物等、日常生活の中で自家用車は必要不可欠であります。地域を支える道路交通体系を構築するためにも、**国・県道及び市道の整備**は必要であります。

◎中心市街地の表玄関への道づくり

本市の表玄関である JR 江津駅前には空洞化が進み、商店もシャッターを閉じ、ゴーストタウンと化してしまったような散々な状況であります。

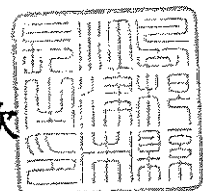
若者を呼び戻し本市の表玄関として、ふさわしいまちづくりを進めるため、**現国道 9 号の整備**が必要であります。

以上、六つの道づくりについて述べたところであります。

その中でも**特に整備が必要な重要路線**として別紙に掲げておりますが、これら路線につきましては当面の整備手法として、山陰自動車道は対面二車線化、国道や地方道につきましては 1.5 車線化等、限られた財源を考慮し効率化も含めてご提案いたします。

平成 19 年 5 月 7 日

江津市長 田中 増次



別 紙

特に整備が必要な重要路線

島根県江津市

番号	道路 種別	路線名	工区名	計画延長(m)	備考
1	国	山陰自動車道	江津～温泉津間	13,000	
2	国	一般国道261号	桜江バイパス	1,822	
3	一	浅利渡津線	浅利、渡津工区	5,020	
4	一	跡市波子停車場線	高田、大峠工区	2,840	
5	主	田所国府線	有福温泉工区	1,200	
6	主	桜江金城線	長谷西工区	1,860	
7	主	桜江金城線	市山工区	5,000	
8	主	大田桜江線	谷住郷工区	1,880	
9	一	皆井田江津線	跡市工区	1,480	
10	一	大田井田江津線	波積、後地、都治工区	3,065	
11	市	山中線	長谷～舞立	4,000	
12	市	嘉久志神村線	嘉久志町	500	

特に整備が必要な重要路線 島根県江津市



別紙参考資料(島根県江津市)

1)保有車両等の比較

区分(1世帯当たり)	東京 23 区	江津市	比較(倍率)
保有台数	0.50 台	1.67 台	3. 34倍
年間走行距離	3,408km	23,233km	6. 82倍
重量税+取得税	12,875 円	27,396 円	2. 13倍
揮発油税	21,157 円	124,355 円	5. 88倍
計	34,032 円	151,751 円	4. 46倍
家計に占める負担率	0.77%	6.06%	7. 87倍

2)道路改良率の比較

区 分		江津市(H18)			全国平均(H14)
		実延長	改良済延長	改良率	改良率
国道	国管理	23,868m	23,868m	100.0%	100.0%
	県管理	25,593m	24,305m	95.0%	83.3%
国道計		49,461m	48,173m	97.4%	90.1%
県道	主要地方道	22,872m	8,335m	36.4%	74.2%
	一般県道	100,647m	22,621m	22.5%	57.7%
県道計		123,519m	30,956m	25.1%	65.1%
市町村道		466,144m	47,966m	10.3%	53.4%
合 計		639,124m	127,095m	19.9%	56.3%

3)合併時に実施した住民アンケート(問 新市が重視すべき施策は？)

島根県江津市

区 域	順位	回 答 (複 数 回 答)	比 率
旧桜江町	1	県道・市町村道の整備	41.2%
	2	医療対策	36.3%
	3	高齢者・障害者等の福祉サービス	31.1%
	4	公共交通サービス	27.3%
	5	若者定住対策の推進	26.0%
旧江津市	1	若者定住対策の推進	35.5%
	2	高齢者・障害者等の福祉サービス	31.5%
	3	雇用対策	29.2%
	4	医療対策	27.8%
	5	健全な財政運営	25.0%

全 体	1	若者定住対策の推進	34.1%
	2	高齢者・障害者等の福祉サービス	31.4%
	3	医療対策	29.0%
	4	雇用対策	28.3%
	5	県道・市町村道の整備	26.3%